

実践記録

68

シリーズ

交流を通して子どもが変わる！ 大人も変わる！

～青森県下田町との「子ども交流会」～

下田村教育委員会 派遣社会教育主事 樋口 健一

1 はじめに

下田村は同名町村のつながりで青森県下田町と交流しています。以前は大人同士での交流をしていましたが、平成13年度からリニューアルして「子ども交流会」となりました。初年度は教育委員会が主催して参加者を募り、青森県へ出かけました。昨年、青森県から迎えるにあたり、社会教育係へ担当が移行し、地域の子ども会関係者からなる実行委員会を組織して、交流と合わせて地域活動の活性化もねらいとしました。



楽しいゲームでの交流

2 子どもへの刺激

青森県下田町は岩手県との県境に近い町です。町内の地域ごとに単位子ども会があり、町全体でも連合会が組織されています。そして、中学生がリーダー研修を受け、中級リーダーとして進行やゲームを進めてまいります。大人は見守

るだけで、高校生や大学生になっても顔を見せる子もいます。中級リーダーは、仲間が説明しているときには参加者を囲むように位置して拍手などで盛り上げます。立つ位置や話し方等、研修の成果が生かされているのを感じます。

下田村の子ども達は、そんなリーダー達の姿に接すると、初めは驚きますが、やがて憧れるようになります。群れて村の仲間からなかなか離れようとしなかった中学生が、進んで交流の輪に入るようになってきます。帰りのバスの中では、「来年は私がゲームの担当をしたい!」と言い出す子も出てきました。

活発な青森の子ども達の姿に触れて、村の子ども達も変化してきます。これが、交流会の最大の成果だと考えています。

3 大人も変わる

初年度に青森県へ出かけた地域の方は、中学生リーダーの活躍ぶりにびっくりしたそうです。いちいち大人が指図するのではなく子ども達がリードしていく、そんな組織を下田村でも作っていかなくてはと、思いを強くして帰ってきたそうです。

昨年、下田村で行った交流会では、有志のみなさんから成る実行



仲よくなるために

委員会を組織し、企画・運営を行いました。子どもスタッフも小中学生から募集して、一緒に企画会議に参加してもらいました。日曜日に集まって、しおりを作る子や初対面同士が仲よくなるためのゲームを考える子など、めざましい活躍をしてくれました。

青森県下田町から刺激を受けた大人たちも変わります。全部大人がお膳立てするのではなく、子どもと一緒に企画したり、活躍の場を提供したりする事業が増えてきています。

4 これから

お互いにいい刺激を受けながら交流を続けていきたいものです。下田村では少子化に伴い、集落単位の子ども会から小学校区単位の育成会へと組織作りを進めているところです。各地域の育成会と連動して青森県下田町との交流事業を進め、各育成会も活性化して行けたらと願っています。

